第５　生活排水対策推進計画



炊事、洗濯、入浴等、人の生活に伴い公共用水域に排出される水を生活排水と呼び、油ヶ淵の汚染要因の大部分は生活排水とされています。

本市は、水質汚濁防止法により平成３年３月に油ヶ淵周辺地域が生活排水対策重点地域に指定されたことを受け、平成４年３月に碧南市生活排水対策推進計画を策定、現在は平成２９年３月に改訂した第４期の計画に基づき生活排水対策を推進しています。

また、県と油ヶ淵周辺４市が平成５年に油ヶ淵水質浄化促進協議会を設立し、油ヶ淵の水質浄化を目指した水環境改善緊急行動計画（通称、清流ルネッサンス２１）を策定して生活排水対策を行ってきました。目標年度の２０３０年度には目標水質ＣＯＤ６㎎／Ｌを達成するため、第４期計画の「水質浄化促進行動計画（油ヶ淵ルネッサンス計画)」に取り組んでいます。

生活排水対策は、市民一人ひとりが身近なところから取り組みを進めていくことが肝要です。今後も、各実験や事業の結果をふまえ、市民の協力を得ながら生活排水対策を推進していきます。

１　生活排水対策推進計画の目標

本計画の目標年度は令和８年度とし、目標年度までに汚水整備人口普及率９８％を目指します。また、計画の理念を実現するため、以下の４つの目標を掲げました。

(1) きれいな水を子どもたちに残そう（生活排水処理施設等の整備）

(2) ふれあいと親しみのある魅力あふれる水辺をつくろう（水辺空間等の整備）

(3) 水を育む活動をみんなで広げよう（生活排水対策に係る広報啓発等）

(4) 流域全体でつながりあって取り組もう（流域全体の生活排水対策の推進）

２　生活排水対策推進計画の進捗状況

項　　目		策定時現況 （平成２７年度）	見込み実績 （令和７年度末）	計画目標 （令和８年度）
市全域	汚水整備人口普及率	８０．６％	９７．２％	概ね９８．０％
	下水道 整備人口	５２，０７９人	６８，７０８人	６８，５６０人
	浄化槽 整備人口	５，８０９人	１，３２８人	２４０人
油ヶ淵流域	汚水整備人口普及率	９０．４％	９１．７％	概ね９８．０％
	下水道 整備人口	１２，２２４人	１２，５７０人	１３，８２０人
	浄化槽 整備人口	８７４人	４７４人	６０人